

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
社会保障	2年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	大坪 純子
授 業 概 要					
急激な社会の変化とともに医療・保健・福祉の領域においては、国民の生活を守るためにあらゆる制度改革が行われている。従って看護師・保健師としてより高い専門性を身につけるためには、社会・経済・雇用等の動向を素早く把握したうえで、社会保障・社会福祉を理解する必要がある。本講義では、実社会の現状や事例を紹介しながら学問としての体系を学んでいく。					
到 達 目 標					
1. 我が国の社会保障制度（医療・介護・所得・労働）の概念・目的・体系を理解する。 2. 社会福祉の概念と体系（高齢者・障害者・児童福祉）について理解する。 3. 医療・保健従事者として、社会福祉の実践・方法を自ら考えながら学んでいく。					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1	社会保障制度と社会福祉とは何か				大坪 純子
2	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 （人口、少子高齢社会、経済、雇用、社会問題、地域、保健・医療）				
3	医療保障① （構造と体系、医療経済、国民医療費）				
4	医療保障② （健康保険、国民健康保険、高額療養費）				
5	医療保障③ （高齢者医療制度、保険診療のしくみ、公費負担医療）				
6	介護保障① （制度の体系、サービスの流れ、課題、財源）				
7	介護保障② （ ” ” ）				
8	所得保障 （年金保険制度、労働保険制度、社会手当、課題）				
9	公的扶助 （生活保護制度、貧困・低所得者の現状と対策）				
10	高齢者福祉 （状況と課題、老人保健、認知症対策、虐待）				
11	障害者福祉 （障害者の定義と実態、ICF、差別解消法、虐待、支援費制度、就労支援、成年後見制度）				
12	児童福祉 （子どもの現状、母子保健、子育て支援、虐待、貧困）				
13	社会福祉実践と医療・保健① （ケースワーク、グループワーク、コミュニティーワーク、スーパービジョン、実践事例）				
14	社会福祉実践と医療・保健② （エンパワメント、地域包括ケア、医療ソーシャルワーク、職種間連携）				
15	社会福祉の歴史、まとめ				
学 習 方 法					
・教科書を中心に適宜資料を配布 ・講義とディスカッション形式による					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉 福田素生、稲沢公一 他 医学書院 〔副教材〕 「公衆衛生がみえる」：医療情報科学研究所 メディックメディア					